

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	1	マットを敷いてゆったりすごせるスペースを視覚的にわかり易くして環境を整えた。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	2		マンツーマン対応や慣れている職員がいない場合は足りないと感じる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	2	2階だがエレベーターがない。室内はバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10			事業計画を基に三か月毎に検討している。目標や改善点について必要時に話し合いができています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		アンケートを活用し、意向を汲み取って改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		ホームページで公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	1	法人内の他事業所が今年度第三者評価を行った。当事業所も今後実施し、業務改善に繋げていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		内部研修、外部研修共に幅広い研修の機会を設けてスキルアップに繋げている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		保護者との面談や連絡ノート、毎日の個別記録よりニーズや課題を吸い上げて客観的な視点に留意しながら計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	受け入れ時や必要時にアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	1	リーダーがプログラムの内容を提案し、チームで相談や助言をし合いながら決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			作業療法士のアドバイスを取り入れながらプログラムを考えることができた。また、非常勤職員のアイデアや、季節感を大切にしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		長期休暇には、時間の長さに見合った特別プログラムを設定し、それぞれの課題に沿って取り組むことができた。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	1	個々に適したデイサービス計画を作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			日々、必ず申し送りをし、支援方法、ヒヤリハット、利用者の様子の変化について確認し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11			必ず振り返りを行い、気になった行動や良かった点などを共有し、次回の活動に活かしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2		記録は細かくとっている。支援という視点に沿った記録の書き方に難しさを感じることもある。記録の書き方についての研修会を今年度は行えなかったため今後、実施していきたい。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		半年に一度モニタリングを行い、見直しを検討している。又、必要時は計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3		ガイドラインに沿った活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		児童発達支援管理責任者と、日々接している職員が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		必要に応じて保護者の了解を得て学校のお便りなどをコピーして頂いたり連絡帳でやり取りを行っている。緊急の際は電話や直接会ってやりとりをしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3		該当者がいないが、必要時は整えていく。服薬に関しては、主治医の指示書を提出してもらい、指示通りに行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		外部の事業所からの情報共有はないが、保護者から聞き取りや資料を提出してもらっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	2	保護者に任せている。要望があれば保護者の意向を確認してから提供することはできる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		専門機関の臨床心理士に相談し、様子を見てもらって助言を頂いた。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	6	交流の機会は少ない。高校生のボランティアを受け入れている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	参加している。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2		その都度、困ったことや、出来たこと等を連絡帳や電話、直接会った時に話しており、共通理解を持っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	障害理解や対応についての内部研修の際に保護者にも呼びかけ、参加してもらった。又、必要時には職員から保護者に助言をしている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2		契約時に丁寧に説明をしている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		悩み事や支援についての相談等、一緒に考えながら問題解決に繋げている。にじのこだけでは対応が難しいと考えた場合には、学校等の他機関を含めて担当者会議を実施している。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	バザーを通じ、保護者通しの関わりの機会を設けているが、毎回同じ保護者に偏ってしまいがちである。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		苦情があった際には迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			季刊誌や、毎月にじのこだよりを発行している。ホームページやブログ等で情報を発信している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	11			鍵のかかるロッカーに保管するなど、個人情報には十分注意している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			個々に合った配慮をしている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3		バザーでは地域に向けたポスターを提示したり、区報に掲載している。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1		職員にはすべて周知している。保護者には面談時などに伝えているが周知できていないものもある。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			毎月一回避難訓練を実施している。又、災害伝言ダイヤルの体験日に練習をしている。非常食の体験を行いたい。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			研修を毎年実施している。日々、利用者の立場に立って考えている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2		該当者がいないが、必要時は記載する。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3	1	個別に保護者に確認をとっている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			些細なことでも情報を共有し、ケア会議等で検討をしている。

平成 31 年 3 月集計

(職員 11 名中 11 名提出)